

計画学基礎
Basic Planning Systems Analysis

教員名	新田 保次(にった やすつぐ)、横田 隆司(よこた たかし)、鈴木 毅(すずき たけし)							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S1棟6階626室(新田)、8階823室(横田)、8階822室(鈴木) 電話: 06-6879-7608(新田)、06-6879-7647(横田)、06-6879-7641(鈴木)							
E-MAILアドレス	nitta@civil.eng.osaka-u.ac.jp、yokota@arch.eng.osaka-u.ac.jp、t-suzuki@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	地球総合工学科 社会基盤工学コース(2年次)、船舶海洋工学コース(2年次)、 建築工学コース(2年次)							
単位	2		セメスター			3		
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	持続可能な社会形成のもと、人々が豊かに生活し、各種産業が活発に活動するためには、道路、鉄道、海運や航空関連の交通施設、上下水道、公園・広場などの社会基盤施設、住宅、商業・業務関連施設、公益・公共施設などの建築物や外部空間の整備が必要となる。このような施設整備計画に関する問題・課題の発見、目的・目標の設定、代替案の作成と評価にいたる一連の計画プロセスに関する理解を深め、各段階における基礎知識の学習と、演習を通じての応用力を養うことをめざす。 (地球総合工学共通目標:9回分) 1. 計画づくりの手順を理解し、身近な課題へ応用できるようになる。 2. 計画課題の明確化から目的・目標設定を的確に実施できるようになる。 3. 代替案作成の方法を理解し、施設整備に関する代替案を作成できるようになる。 4. 代替案評価のプロセスを理解し、具体的な代替案評価に応用できるようになる。 (建築工学コース:5回分) 5. 建築とその計画についての基礎的な知識とその特徴を理解できる。 6. 都市や地域を形成する建築物およびその周辺環境の計画についての基礎的な知識をえる。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○		◎					○
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教育 目標
	ガイダンス(1回)		ガイダンス(高度1回)					AH
	計画の役割と位置づけ(1回)		地球総合工学科における計画の役割と位置づけについて基本的な知識を身に付ける。(高度1回)					ACH
	計画の全体像と手順(1回)		計画づくりの手順を理解し、身近な課題へ応用できるようになること。(高度1回)					ACH
	計画課題の発見、目的・目標の設定(1回)		計画課題の明確化から目的・目標設定を的確に実施できるようになること。(高度1回)					ACH
	データの収集と分析の方法(3回)		地球総合工学におけるデータの収集と分析の方法を学習する。(高度3回)					ACH
	代替案の作成と評価(2回)		代替案作成の方法を理解し、地球総合工学に関する代替案を作成できるようになること。(高度2回)					ACH
	建築計画の基礎(3回)		建築とその計画についての基礎的な知識とその特徴を学習する。(高度3回)					ACH
	都市・地域計画の基礎(2回)		都市や地域を形成する建築物およびその周辺環境の計画についての基礎的な知識をえる。(高度2回)					ACH
	期末試験(1回)							
教科書	森 康男, 新田 保次編著:「土木システム計画」, 朝倉書店							
参考図書・文献等	授業中に随時、紹介する。							
成績評価方法・評価基準	・共通講義部分の配点65点(内訳:期末試験70%、レポート30%) ・各専門コース部分の配点35点(内訳:期末試験70%、レポート30%)							
オフィスアワー	水曜日13:00～14:30。ただし、都合により変更となることもある。							
コメント								